

令和8年度 学校経営方針



津市教育振興ビジョン基本構想
 「持続可能な社会の創り手となる自立した人づくり」
 地球上で起きている様々な問題が遠い世界のものではなく、地球社会の問題にもつながっており、自分の生活に関係していることを意識づけることにより、その解決に向けて自ら行動を起こす力を身に付け、持続可能な社会の創り手となる人材の育成をめざします。

南が丘中学校の教育目標
 自立・尊重・創造

保護者・地域の願い
 (南が丘学校協働委員会からの提言)
 ・安心して健康な学校生活における社会性の育成
 ・確かな基礎学力と充実した学習
 ・学校運営の改善と教育環境の整備
 ・保護者・地域の要望を受け止め、連携協力した子どもの育成

南が丘小学校の教育目標
 未来を切り拓く、たくましい子どもの育成
 未(あ)来にむかって、(な)かまとともに、(あ)んなで、(か)んばり、(あ)もいやりをもち、(か)がやく子

8つの重点取組と具体的な行動計画

1 地域とともにある学校

- 地域リソース(人、自然、文化等)の積極的活用
- 学校教育活動の様子の積極的な発信(各種たより・HP)
- 公開デー等を活用した学校教育活動への理解・参画
- 学校運営協議会、学校協働委員会、PTA、関係諸団体等との協働

2 小中一貫教育、保幼小の連携

- 6つの推進部会による小中一貫教育の推進
- 相互授業参観等、協働による行事及び取組の実施
- 架け橋プログラムの実施による保幼小の連続した学びの実現

3 確かな学力を基盤とする探究学習、小中を見通した楽しい英語教育

- 子どもが自ら『問い』を持ち、他者と協働しながら探究する授業づくり
- 学力調査結果等の検証と、課題改善に向けた取組
- 9年間を見通した独自のカリキュラムにもとづき、児童の興味関心を高める英語教育の推進

4 人権教育

- すべての児童が安心して、居心地よい学級づくり
- 子どもの人権課題をふまえた集団(学級・学年・学校)づくり
- 子どもの生活課題の把握と多面的・総合的な児童理解

めざす子ども像
 ≪自分で考え、判断し、行動する子≫

- 知・進んで考え、他者と協働し、自分の学びを深める子
- 徳・自分も友だちも大切にし、思いやりのある言動ができる子
 ・気持ちをこめて、あいさつができる子
- 体・めあてをもって、健康な体づくりができる子

5 特別支援教育

- 子ども一人一人の生活課題の把握と教育的ニーズに応じた指導・支援
- 多様性に対応したどの子にも安心できる授業づくり
- ケース検討や保護者・専門機関等との積極的な連携

6 生徒指導

- 校内支援センター・関係機関との連携を通じた予防的不登校対策
- 主体的にきまりやルールを守る規範意識の向上
- あいさつをはじめとする基本的な生活習慣の向上
- 中学校や家庭・地域等との連携

7 健康安全教育(安全・食・保健)

- 子どもが自分で身の安全を確保できる安全教育
 ・防災教育(安パト、自主防等との連携)
- 運動や食生活等、健康な体づくりのための取組

めざす学校像

- ・児童が安心できる学校
- ・保護者に信頼される学校
- ・地域とともにある学校

めざす教師像

- ・子どもの心に寄り添い、温かく見守る教師
- ・ともに学び合い、互いに磨き合い、よりよい授業を創る教師
- ・保護者や地域との信頼関係を築く教師
- ・目標に向かって創意工夫し、協働する教師

8 教職員の資質・チーム力向上、総勤務時間の縮減

- 校務分掌の見直しによる働きやすさと健康管理
- 勤務時間縮減活動指標
 ・時間外労働時間上限の順守(月45h、年360h)
 ・時間外労働時間 各自昨年度実績10%減
 ・休暇取得日数 各自昨年度実績3日以上増
 ・NO会議デー及び定時退校デー 月1日以上
 ・60分以内に終了する会議の割合 80%
- 指導力の向上、若手を対象にした研修の充実(プチ研修会、授業動画、お気軽参観、教員文庫等の積極的な活用)
- 教職員の多様な働き方を尊重する環境づくり

学校評価の要素 : 児童アンケート、学校教育活動に関するアンケート、学力学習状況調査等
 評価に係わる組織 : 南が丘小学校学校運営協議会(意見)、南が丘学校協働委員会(提言)